

『元気に登校・楽しく学んで・笑顔で下校』の基は…

P T A 総会の折にもお話をさせていただきましたが、小学校だよりも再度掲載させていただきます。



本年度、本校では、児童が、「今日はこんなことをするぞ!」とめあてをもって元気に登校し、「一緒に頑張ろう!」と声をかけ合いながらなかまとともに楽しく学んで、「今日は一日よくがんばったな!」と満足しながら笑顔で下校できる学校でありたいと考え、子どもたちの学習意欲や活動意欲をさらに高めることができるよう、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間など日々の教育活動に全力で取り組んでいます。

しかし、子どもたちは一日の約 3 分の 2 を家庭で過ごします。実は、この家庭での過ごし方が、子どもたちの学習意欲・活動意欲を高める重要な役割を担っているのです。

一つ目は…。基本的な生活習慣の定着です。寝覚めが悪い状態で登校すると朝から大あくび、食事をしないで登校すると体に力が入らない、うんちをきちんとしていないと急におなかが痛くなる…。いずれも、『元気に登校』にはほど遠い状態になります。各家庭で『ぐっすり睡眠・しっかり食事（特に朝食）・すっきり排便』の実践をお願いします。

二つ目は…。家庭の中でのあいさつです。朝起きて家族が顔を合わせたとき、「おはよう」と声をかけ合っているでしょうか? また、明るい声で「行ってらっしゃい」と子どもを送り出しているでしょうか? お家の人の朝の明るい一声が、子どもに『元気に登校』する力を与えます。また、帰ってきたときに笑顔で「お帰り」、そして寝る前にやさしい「おやすみ」。その一言が、子どもに「今日も良い日だったな」という満足感、「よし、また明日頑張るぞ」という気力を与えます。ぜひ、『明るくやさしく温かいあいさつ』で、毎日子どもに元氣の水を与えてあげてください。

三つ目は…。子どもの話を聴くことです。子どもは、学校で様々な体験をして、今日あった出来事をいっぱいお家の人に話したいと思いつつ家に帰ります。そんな自分の話を聴いてくれるお家の人がいると思うだけで、子どもは、『笑顔で下校』できるのです。『家事をしながら、食事をしながら、お風呂に入りながら』で結構です。子どもが語ることに耳を傾けてあげてください。



学校が果たす役割と家庭が果たす役割、互いの役割を理解しながら家庭と学校が手を携えて協働することこそ、子どもたちが『元気に登校・楽しく学んで・笑顔で下校』できる基となるのではないのでしょうか。

保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしく申し上げます。